

あとがき

『ロマンス語研究』第52号をお届けいたします。本号は、日本ロマンス語学会第56回大会（2018年5月12日（土）、13日（日）の両日、京都大学にて開催）での口頭発表に基づく論考を中心に掲載しています。大会実行委員長としてご尽力くださった京都大学国際高等教育院准教授の塚原信行先生に改めてお礼申し上げます。

第1日は、まず自由テーマ2本（ともにフランス語の不定代名詞に関する研究）の発表が行われました。続いて、今年度の統一テーマ「ロマンス諸語における限定詞・関係詞」についての4本の発表があり、ポルトガル語、スペイン語、オック語、ラディン語に関するさまざまな仮説や、有益な情報が提示されました。その後、総合討議の場でこれらの発表に関する質疑応答が活発に行われました。統一テーマに関する詳細は、本号の「総合討議の総括」にまとめられています。

第2日は6本の自由テーマの発表が行われました。ポルトガル語の依頼表現、フランス語の罵倒表現、フランス語の未来形、フランス語の *parce que* の働き、古フランス語の「ゆれ」と通時的変化、サルデーニャ語の代名詞と、多岐にわたる興味深いテーマが取り上げられ、それぞれに対して質問やコメントが相次ぎました。ご出席くださった会員に感謝申し上げます。

本号では、これらの研究成果のうち、統一テーマの発表から1編、自由テーマの発表から4編、計5編を厳正な査読を経て掲載いたしました。また、近年、我が国で公刊されたロマンス語研究に関する書籍についての書評1編を加えることができました。書評はもう1編収録の予定でした（本学会員の小林標先生のご著書『ロマンスという言葉 — フランス語は、スペイン語は、イタリア語は、いかに生まれたか —』、大阪公立大学共同出版会、2019）が、こちらは次号以降に譲ることになりました。

本号は、当初編集が順調に進んでいましたが、その後、諸般の事情により刊行が遅くなってしまいました。執筆者の皆様をはじめ会員の皆様に深くお詫び申し上げます。

本号が無事刊行できたのは、編集委員会、事務局ならびに査読にあたってくださった専門家各位のご尽力によるものです。心よりお礼申し上げます。

なお、2015年5月より2019年5月まで会長を務めましたので、本誌第49号より本号まで、私がこの欄を執筆させていただきました。在任中は、皆様のお力添えをいただき、ありがとうございました。次号よりは現会長の後藤斉先生があとがきをご担当いただくこととなります。

当会が今後ますます日本のロマンス語学の発展に寄与することができるよう、皆様の一層のご協力を乞う次第です。

前会長 福寫教隆

日本ロマンス語学会 (2018年度)

理事等役員

市之瀬 敦 (会計担当)	鈴木 信五
今田 良信	アルダ・ナンニーニ
上野 貴史	福寫 教隆 (会長)
川上 茂信	藤田 健
黒澤 直俊 (事務局長)	町田 健
後藤 斉 (副会長、Web広報担当)	山村 ひろみ

編集委員

市之瀬 敦	長神 悟
今田 良信	福寫 教隆
川上 茂信	藤田 健
黒澤 直俊	町田 健
後藤 斉	アルダ・ナンニーニ
富盛 伸夫	山村 ひろみ (編集委員長)

ロマンス語研究 52

2019年5月発行

編集兼発行者 日本ロマンス語学会
代表者 福寫 教隆

事務局 〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学大学院総合国際学研究院黒澤直俊研究室内
Tel. (042) 330-5258
Eメール: nkurosawa@tufs.ac.jp

© SOCIETAS JAPONICA STUDIORUM ROMANICORUM 2019
ISSN 1883-1176

ロマンス語研究

STUDIA ROMANICA

52

統一テーマ「ロマンス諸語における限定詞・関係詞」

論文

- スペイン語における前置詞後続名詞句の数・定性
 一名詞句の現働化による7前置詞のクラスタリング
 喜多田 敏嵩 1

報告

- 総合討議の総括：
 「統一テーマ『ロマンス諸語における限定詞・関係詞』」
 福嶋 教隆 11

自由テーマ

論文

- 日本語とブラジルポルトガル語における依頼表現の丁寧度の対照研究
 - 関西在住の日本人とブラジル人の場合 -
 小野 和信 15
- 古フランス語に見られる共時的「ゆれ」と通時的变化について
 今田 良信 25
- 北仏における不定代名詞 *on* についての言語地理学的分析
 大河原香穂、伊藤玲子、清宮貴雅、関敦彦 35
- 話し言葉フランス語の *parce que* の対比的用法について
 秋廣 尚恵 45

書評

- 寺崎英樹『スペイン語文法シリーズ2 語形変化・語形成』東京 大学書林 2019年
 山村ひろみ 55

- 要旨 59
- 2018年度学会報告 62
- 2017年度会計報告等 63
- あとがき 67

日本ロマンス語学会

SOCIETAS JAPONICA STUDIORUM ROMANICORUM

2019